



平成29年度

保健師等スキルアップ勉強会報告書

平成29年12月19日 特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわき事務局

今回の勉強会では、高齢者保健を担う保健師に求められる知識と技術、地域をみる統計（第2回）を学びました。

高齢者保健の基礎知識

勉強会の前半では、前回（10月17日）の復習を行い、高齢者保健を担う保健師に求められる知識について講義とグループワークを通して学びました。グループワークでは、今改めて高齢者保健を担う保健師に求められる知識と技術について振り返り、「データから課題を読みとる能力」「住民向けにわかりやすく説明する力」などがあげられました。

既存資料・
調査結果の活用

高齢者の健康課題
の抽出



▲二次資料を活用し高齢者の健康状態について学びました。

地域をみる統計（第2回）

後半は、地域包括支援センターの保健師の皆さんが実施した調査結果を活用し、グループで分析し共有しました。参加者の皆さんは積極的に取り組まれ、解釈も丁寧になされていました。今後の介護予防の取り組みの方向性について共有することができました。

講師紹介

福島県立医科大学医学部
健康リスクコミュニケーション学講座
小林智之 特別研究員



* 略歴：同志社大学大学院 心理学研究科 博士後期課程修了（心理学博士）。帝塚山大学心理学部の非常勤講師、大阪府立大学スクールソーシャルワーク評価支援研究所の非常勤研究員を経て、現在は福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座の特別研究員。
* 専門領域：社会心理学、社会的認知、集団間関係



▲実際に収集したデータをもとに分析しました。

吉田和樹 保健技師



* 略歴：福島県立医科大学大学院医学研究科修士課程修了。保健師・大学教員の経験を得て、平成29年4月から福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座の保健技師、大学非常勤講師、保健センターに勤務している。
* 専門領域：母子保健（特に父親の育児）、高齢者保健、国際保健（カンボジアの子どもを対象とした健康教育）

アンケート集計結果

参加者は17名、アンケート回収は14名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	92%
時間配分は適切だった	92%
進行は適切だった	100%
講義について	
講義内容が理解できた	77%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	100%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	85%
話し合いについて	
話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	100%
あなたご自身について	
研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う	62%
研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	77%

感想（一部抜粋）

*データを集めグラフ化、分析する作業ができ面白かったです。

*地区分析、他アンケート集計に活用できるように感じました。



*5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

* 復習ポイント *

- ・ 高齢者の健康状態
- ・ 質的データの重要性
- ・ 調査の目的の立て方



▲グループワークの成果を共有しました。

編集後記

本勉強会では高齢者保健を担う保健師に求められる知識と技術について学びました。地域診断を行い、高齢者の健康課題を明らかにし、ニーズにあった介護予防事業を立案することが必要であると思います。また、地域診断で得られた情報などは地域住民の方々に介護予防の必要性を説明する際にも活用できます。保健活動で得られる地域住民の方々の声（質的データ）なども重視されています。私もアンケートの結果だけでなく、質的データにも目を向け、今後の保健活動の方向性を検討していきたいと思っています。（吉田）